

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】 住んでいる地域にかかわらず県民が希望する医療を受けられる。

中期目標：2015年までにすべての病院・施設がパスについて知識をもち、各医療機関の医療資源を把握し、有効活用する

最終目標：2018年までに県民が希望する医療を受けられるよう、患者の意見を聞き、希望するすべての患者にパスを適用し、地元の施設に係る患者の増加、拠点病院の集中化解消を行う。

指標：パス患者適用率
測定方法：拠点・支援病院のパス対象患者数・適用患者数の合算、分析

指標：パス患者適用率
測定方法：拠点・支援病院のパス対象患者数・適用患者数の合算、分析

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標1】
医療者、行政などから医療機関の機能や役割が見え医療資源が適切に有効活用される。

【アウトカム目標2】
クリティカルパスの認知度の向上

【アウトカム目標3】 地元の施設にかかると患者の増加

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標1】
2016年3月までに院内がん登録データを集計し、院内がん登録データを用いて症例区分を集計する。

【アウトカム目標2】
引き続き、離島、院内、かかりつけ施設、一般向けに研修会を行う。

【アウトカム目標3】
2016年3月までに肺・胃・肝・乳がんの私の力(AS版)を作成し、配布及びHPに公開する。

【アウトカム目標4】
2016年3月までに浦添市をモデル地区とし、浦添総合病院に地村クリニックとパスの連携をして頂くようお願いし、連携後の意見を伺い沖縄県のがん医療連携における課題・要望を把握する。

【アウトカム目標5】
2016年3月までに肺・胃がんの化学療法のパラスを作成する。

【アウトカム目標6】
平成27年度中にPSA二次検診クリニックにパスを10人に適用する

【アウトカム目標7】
平成27年度中に、肺がん5人、胃がん15人、肝がん5人、大腸がん30人、乳がん60人、がん地域連携クリティカルパスを適用する

【アウトカム目標8】
平成27年度中に前立腺がん地域連携バスを10人に適用する

【アウトカム目標9】
平成27年度中に在宅緩和ケア地域連携バス(ていーあんだバス)を5名に適用する

【アウトカム目標10】
毎年、前委員長が発表する2016年3月までに論文を作成する。

施策アクションプラン

【施策1】
八重山・宮古・久米島・北部ではがん診療を行っている医療機関に、院内「症例区分(診断の治癒開始後など)」を集計し、診療実績を明らかにする。

【施策2】
がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。

【施策3】
肺・胃・肝・乳がんの私の力の改訂を行う。

【施策4】
がん診療連携の在り方を検討する。

【施策5】
胃がんの化学療法のパラスを作成する。

【施策6】
PSA二次検診クリニックの運用を行う。

【施策7】
肺がん、胃がん、肝がん、乳がんの地域連携バスの簡素化の改訂を行い、引き続きらがんの地域連携クリティカルパスを適用数を増やす。

【施策8】
前立腺がん地域連携バスの適用数を増やす。

【施策9】
在宅緩和ケア地域連携バス(ていーあんだバス)の適用数を増やす。

【施策10】
地域ネットワーク部会の活動を学会報告および業績を論文化する。

ワークシート1で導き出された対策項目

【対策項目1】
医療者、行政などすべてに対する情報不足の解消

【対策項目2】 地元医療施設での治療の促進

<地域ネットワーク部会:平成27年度事業別経費内訳(案)>

1. 八重山・宮古・久米島・北部ではがん診療を行っている医療機関に、院内がん登録を用いて「症例区分(診断のみ、診断+治療、治療開始後など)」を集計し、診療実態を明らかにする。

2. がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。

項目	研修場所	回数・時間	単価	人数	支出予定金額	備考
旅費	宮古(1泊2日)	1回	49,000	6	294,000	航空券34,200(那覇～宮古往復) 日当2,200/宿泊10,400 (佐村先生・呉屋真人先生・宮里実先生・増田先生・仲本・呉屋)
旅費	石垣(1泊2日)	1回	59,400	6	356,400	航空券44,600(那覇～石垣往復) 日当2,200/宿泊10,400 (佐村先生・呉屋真人先生・宮里実先生・増田先生・仲本・呉屋)
会場借上費	沖縄県医師会	1回	5,000		5,000	会場使用料
講師謝金(学外者)	沖縄県医師会	2時間	15,000	1	30,000	講師1名(宮里浩先生)
講師謝金(学内)	沖縄県医師会	2時間	3,100	1	6,200	講師1名(呉屋真人先生)
講師謝金(学内)	各病院内で実施	30分	1,550	2	3,100	講師2名(呉屋真人先生・宮里実先生)
講師謝金(学内)	宮古	2時間	3,100	3	18,600	講師3名(佐村先生・呉屋真人先生・宮里実)
講師謝金(学内)	石垣	2時間	3,100	3	18,600	講師3名(佐村先生・呉屋真人先生・宮里実)
県内交通費	沖縄県医師会	1回		1名	1,080	講師1名(宮里浩先生)
計					732,980	

3. 肺・胃・肝・乳がんの私のカルテの改訂を行う。

項目	単価	数	支出予定金額	備考
リングファイル(私のカルテ用)	300	100	30,000	
白紙 110 A5(私のカルテ用)	1,600	2	3,200	1冊/500枚入り
白紙 110 A4(私のカルテ用)	1,500	2	3,000	1冊/500枚入り
クリアーポケットA4(私のカルテ用)	200	10	2,000	8枚入り
			38,200	

4. がん診療連携の在り方を検討する。

5. 胃がんと大腸がんの化学療法のパスを作成する。

6. PSA二次検診クリティカルパスの運用を行う。

7. 肺がん、胃がん、肝がん、乳がんの地域連携パスの簡素化の改訂を行い、引き続き5大がんの地域連携クリティカルパスを適用数を増やす。

項目	ワーキング開催場所	単価	人数	支出予定金額	備考
離島委員の運用WG参加時の旅費(宮古の職員)	琉大病院	49,000	1	49,000	航空券34,200(宮古～那覇往復) 日当2,200/宿泊10,400
離島委員の運用WG参加時の旅費(石垣の職員)	琉大病院	59,400	1	59,400	航空券44,600(石垣～那覇往復) 日当2,200/宿泊10,400
計				108,400	

8. 前立腺がん地域連携パスの適用数を増やす

9. 在宅緩和ケア地域連携パス(ていーあんだパス)の適用数を増やす。

10. 地域ネットワーク部会の活動を学会報告および実績を論文化する

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	第日本医療マネジメント学会	2名	97,400 (2泊3日)	194,800	航空券70,000(大阪～那覇往復) 日当6,600/宿泊20,800
	第回日本クリニカルパス学会学術集会	2名	101,000 (2泊3日)	202,000	航空券73,600(東京～那覇往復) 日当6,600/宿泊20,800
計				396,800	

合計 1,276,380

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)

*謝金(学内)・・・1時間 3,100円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)

<地域ネットワーク部会:平成27年度病院別経費内訳(案)>

1. 琉球大学医学部附属病院支出予定額(地域拠点病院) **合計 1,245,580**

1. 八重山・宮古・久米島・北部ではがん診療を行っている医療機関に、院内がん登録を用いて「症例区分(診断のみ、診断+治療、治療開始後など)」を集計し、診療実態を明らかにする。

2. がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。

項目	研修場所	回数・時間	単価	人数	支出予定金額	備考
旅費	宮古(1泊2日)	1回	46,800	6	280,800	航空券34,200(那覇～宮古往復) 日当2,200/宿泊10,400 (佐村先生・呉屋真人先生・宮里実先生・増田先生・仲本・呉屋)
旅費	石垣(1泊2日)	1回	57,200	6	343,200	航空券44,600(那覇～石垣往復) 日当2,200/宿泊10,400 (佐村先生・呉屋真人先生・宮里実先生・増田先生・仲本・呉屋)
会場借上費	沖縄県医師会	1回	5,000		5,000	会場使用料
講師謝金(学外者)	沖縄県医師会	2時間	15,000	1	30,000	講師1名(宮里浩先生)
講師謝金(学内)	沖縄県医師会	2時間	3,100	1	6,200	講師1名(呉屋真人先生)
講師謝金(学内)	各病院内で実施	30分	1,550	2	3,100	講師2名(呉屋真人先生・宮里実先生)
講師謝金(学内)	宮古	2時間	3,100	3	18,600	講師2名(佐村先生・呉屋真人先生・宮里実)
講師謝金(学内)	石垣	2時間	3,100	3	18,600	講師2名(佐村先生・呉屋真人先生・宮里実)
県内交通費	沖縄県医師会	1回		1名	1,080	講師1名(宮里浩先生)
計					706,580	

3. 肺・胃・肝・乳がんの私のカルテの改訂を行う。

項目	単価	数	支出予定金額	備考
リングファイル(私のカルテ用)	300	100	30,000	
白紙 110 A5(私のカルテ用)	1,600	2	3,200	1枚/500枚入り
白紙 110 A4(私のカルテ用)	1,500	2	3,000	1枚/500枚入り
クリアポケットA4(私のカルテ用)	200	10	2,000	8枚入り
計			38,200	

4. がん診療連携の在り方を検討する。

5. 胃がんと大腸がんの化学療法のパスを作成する。

7. 肺がん、胃がん、肝がん、乳がんの地域連携パスの簡素化の改訂を行い、引き続き5大がんの地域連携クリティカルパスを適用数を増やす。

7. 肺がん、胃がん、肝がん、乳がんの地域連携パスの簡素化の改訂を行い、引き続き5大がんの地域連携クリティカルパスを適用数を増やす。

項目	ワーキング開催場所	回数・時間	単価	人数	支出予定金額	備考
離島委員の運用WG参加時の旅費(宮古の職員)	琉大病院	1回(1泊2日)	46,800	1	46,800	航空券34,200(宮古～那覇往復) 日当2,200/宿泊10,400
離島委員の運用WG参加時の旅費(石垣の職員)	琉大病院	1回(1泊2日)	57,200	1	57,200	航空券44,600(石垣～那覇往復) 日当2,200/宿泊10,400
計					104,000	

8. 前立腺がん地域連携パスの適用数を増やす

9. 在宅緩和ケア地域連携パス(ていーあんだパス)の適用数を増やす。

10. 地域ネットワーク部会の活動を学会報告および実績を論文化する

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	第日本医療マネジメント学会	2名	97,400(2泊3日)	194,800	航空券70,000(大阪～那覇往復) 日当6,600/宿泊20,800
	第回日本クリニカルパス学会学術集会	2名	101,000(2泊3日)	202,000	航空券73,600(東京～那覇往復) 日当6,600/宿泊20,800
計				396,800	

合計 1,245,580

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)

*謝金(学内)・・・1時間 3,100円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)